

下水道展'07へ出展します！

開催期間：平成19年7月24日～27日

場所：東京ビックサイト 東展示棟1・2・3ホール

出展会社数：約350社

来場者予想数：105,000人以上

弊社ブース：東3ホール6-33

出展テーマ：レジテクトBT工法

ご来場をお待ちしています！！

案内状のご入用の方はご遠慮なくお申し出下さい

担当：レジテクト本部 東京支店 三浦

TEL 03-5381-0666



日本下水道事業団品質管理センターは、近年改修工事が急増して来た事や、新しい防食工法が出現して来た事に対応するものとして平成14年12月の「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」の改訂を検討して参りました。既に文章の校正段階に入っており、弊社は昨秋から日本防食協議会の一員として「防食指針改訂部会」・「品質管理マニュアル部会」(部会長・弊社)・「10年保証検討部会」の三部会を通して日本下水道事業団に協力しております。

以下今回の改訂ポイントについて述べます。

- ① 防食指針とマニュアルを分離し、一般には「マニュアル」のみを製本し販売する
- ② 現指針に記載されている防食工法の設計仕様例は削除され、いわゆる性能規格への完全移行となる
- ③ 改修工事やシートライニングに関する記述が充実される
- ④ 塗布型工法にも10年保証が求められる(保証書の提出)
- ⑤ 躯体の表面処理後の状態検査には専門技術者や躯体施工者の立会いも義務付けされている
- ⑥ 新しい材料規格では、耐酸性を保持したシーリング材の品質について定められている
- ⑦ 修復モルタル改め、セメント系断面修復材として規定されている

又、このマニュアルの中で事業団から弊社に対しポリウレアのピンホール検査電圧曲線の資料提供や工事記録写真の撮影要領について内容の取り纏めを要請され、資料を提供しております。尚、新耐酸モルタルの指針作成(追補版)については約一年ずれ込み来年になるとのことです。

今後共、下水道事業団とは密にコンタクトし、有益な情報をより早くBN会員の皆様に提供していきたいと思っています。